

2023年度（第35回）研修会報告

研修会担当

日時：11月30日（木）14:00～16:30

実施方法：ハイブリッド（対面・オンライン）形式

対面会場：立教大学新座キャンパス6号館8階会議室

オンライン：ZOOM ウェビナー

テーマ：学術情報流通活性化に向けて

プログラム：

1. 開会の辞（14:00-14:05）

SALA 幹事校研修会担当校 立正大学図書館熊谷学術情報課課長

島田 貴司

2. 挨拶（14:05-14:10）

総合研究大学院大学 附属図書館 館長（総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター 教授）

蟻川 謙太郎氏

3. 第一部：学術情報流通に関する日本の現状（14:10-14:20）

総合研究大学院大学 附属図書館・企画室 附属図書館副館長

柳生 修二氏

4. 第二部：オープンアクセス（OA）について（14:20-14:50）特定非営利活動法人 UniBio Press

尾城 孝一氏

5. 第三部：グリーンOAに伴う機関リポジトリ（研究データ管理含む）、
データキュレーション（14:50-15:20）

国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター 特任助教

（データキュレーション基盤担当）

南山 泰之氏

6. 休憩（15:20-15:30）

7. 第四部：大学間コンソーシアムによる出版社との転換契約交渉や
リポジトリの可能性（15:30-15:50）

総合研究大学院大学 附属図書館・企画室 附属図書館副館長

柳生 修二氏

8. 第五部：パネルディスカッション（15:50-16:20）

SALA での実践を想定して

9. 閉会の辞（16:20-16:30）

SALA 共同代表幹事館 代表幹事 文教大学学術情報部部長

長谷川 美樹

参加人数：93名（対面5名、オンライン88名）（研修担当（7名）は除く）

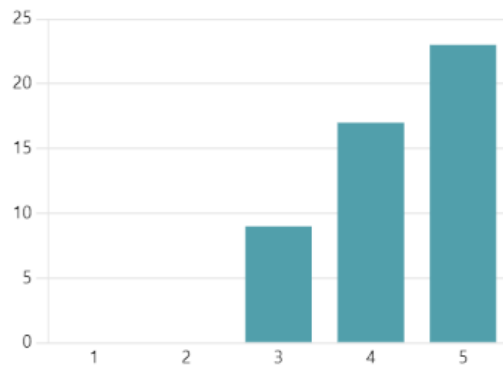
研修会後のアンケート結果

1. 本日の研修会内容は参考になりましたか？

[詳細](#)

[👁️ インサイト](#)

4.29
平均評価

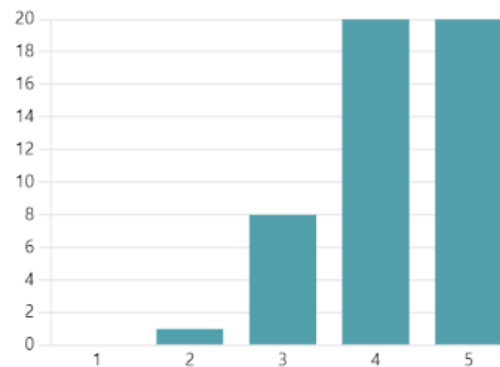


3. 講演者：柳生 修二 氏の講演内容は参考になりましたか？

[詳細](#)

[👁️ インサイト](#)

4.20
平均評価

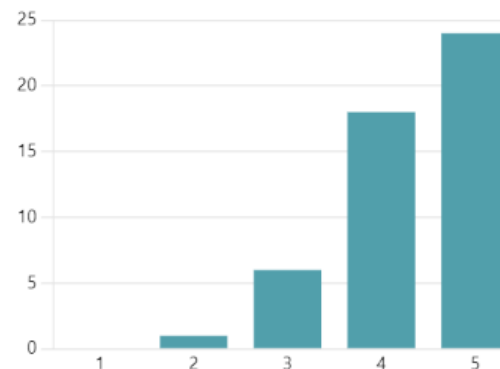


5. 講演者：尾城 孝一 氏の講演内容は参考になりましたか？

[詳細](#)

[👁️ インサイト](#)

4.33
平均評価



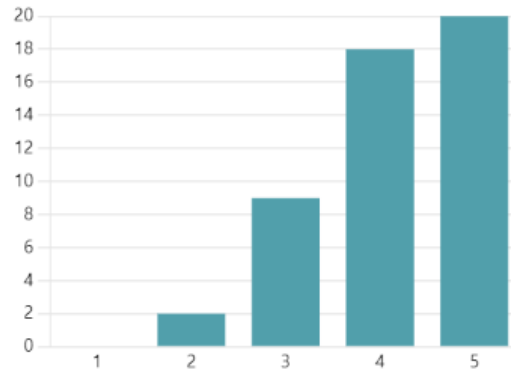
7. 講演者：南山 泰之 氏の講演内容は参考になりましたか？

詳細

🔍 インサイト

4.14

平均評価



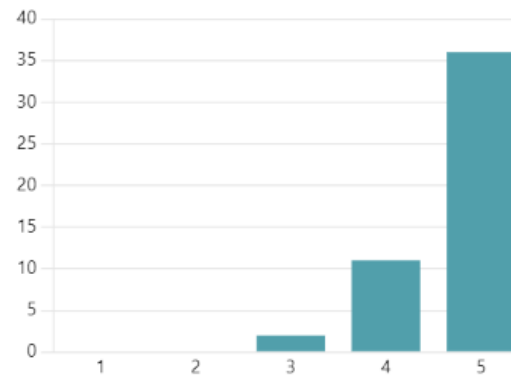
9. 今年度のテーマ設定はいかがでしたか？

詳細

🔍 インサイト

4.69

平均評価

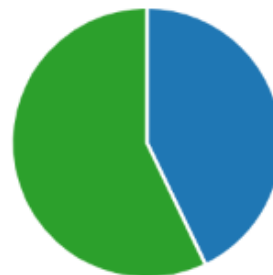


10. 次年度以降の開催方法としてどのような形式が望ましいですか？

詳細

🔍 インサイト

- オンライン形式 21
- 対面形式 0
- ハイブリッド形式 28
- その他 0



「1. 本日の研修会内容は参考になりましたか？」の回答（一部抜粋）

項番	回答
1	全体の動向がわかった

2	オープンアクセスには未確定な部分や問題点がまだまだ多く、明確な解決策はまだないことが理解できました。
3	OAの基本から、研究データの取り扱いの将来について、コンソーシアムの実践について聞くことができ有意義でした。
4	各トピックスについて、基本知識から現状の課題まで網羅されていたので、初任者にもわかりやすかった。
5	OA方針が示されたにも関わらず、実務上の具体的な方向性が見えない中、最新の動向を伺うことができた
6	OA化についてこれまで知っていた情報がさらに整理されたこと、また新たな情報を得られたこと、また登壇者の先生方のお考えをお伺いでき、大変有益でした。
7	現在のOAに関する状況として、G7以降、政府が焦ってOA化を進めていること、そのため環境の整備や具体的な条件が出そろっていないこと、それを受けて多くの大学や機関が困惑しつつ対応を考えているということがわかった。また、出版社との交渉について、ジャーナル契約額の上昇を抑えるために、出版社との交渉をしっかり行っていく必要があることがわかったため。
8	それぞれ立場の異なる方々のご講演とパネルディスカッションという、5部構成での研修会は、大変有意義だったと思います。ありがとうございました。
9	テーマが広がり難しい内容でしたが、オープンサイエンスの第一人者の方々の貴重なお話を伺い、知見を広めることができました。
10	現状のまとめ、今後やるべきこと、動向など他大学の事例など具体的な話もあり勉強になった

今回の研修会の担当としての振り返り

今回は、総合研究大学院大学図書館との共催での研修会ということで、以下の成果があった。

- ・その道の第一線の登壇者にご講演いただくことができた
- ・多くの参加者に講演を見ていただくことができた
- ・特に大学図書館が直面している課題の最新状況を知ることができた

加えて、新たにSALAとして以下の対応をとることができた。

- ・講演の録画映像をSALAのYouTubeチャンネルを作成し、公開することができた。

今回の研修会のテーマを提供していただき、講演会につなげてくださった文教大学の長谷川さんに感謝申し上げます。また、快く会場を提供いただいた立教大学図書館様、設営と当日の運営、片付けや講演の録画等、スムーズに実施してくださった立教大学の鈴木さん、安斉さんに深くお礼申し上げます。パネルディスカッションにご登壇くださった城西大学の関口さんにもお礼申し上げます。更に、YouTubeチャンネル作成には駿河台大学の川野さんに多大なるサポートをいただきました。どうもありがとうございました。

一方で、研修会の準備段階に以下のような課題があり、今後の検討要件としたい。

- ・講演の調整が直前まで手間取り、十分な広報ができなかった
- ・スライド資料の共有に関する確認が直前まで取ることができなかった。

以上